

令和5年度 第1回 入試

開智日本橋学園中学校

社会

注 意 事 項

- 1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子及び解答用紙を開かないでください。
- 2. 試験中に問題冊子の不鮮明・ページの落丁・乱丁・解答用紙の汚れ等があった場合は、手をあげて試験監督の先生に知らせてください。
- 3. 試験終了後、この問題冊子も回収します。試験開始後、すぐに表紙下の受験番号欄に、座席番号・受験番号を記入してください。
- 4. 解答用紙には、試験開始後すぐに、座席番号・受験番号・氏名を記入してください。
解答は、解答欄をはみ出さずに、ていねいに記入してください。

座 席 番 号			

受 験 番 号			

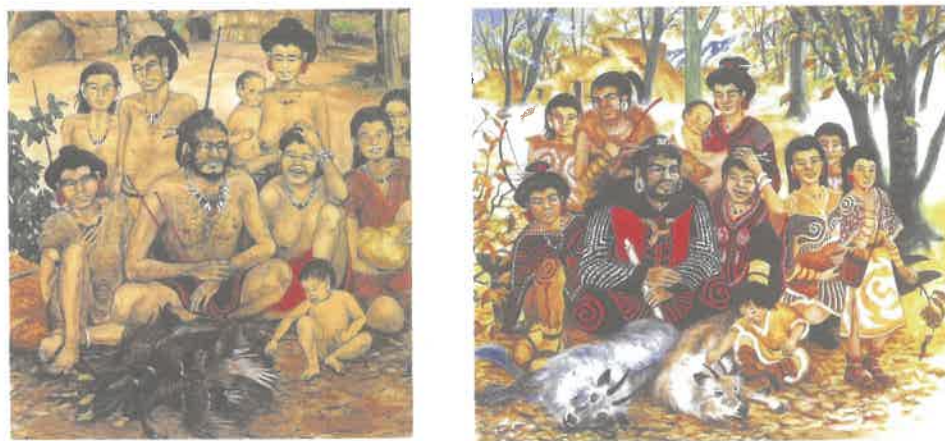
1 以下の文章を読んで、設問に答えなさい。

歴史は、人類の業績のなかでも特に興味深いものを選びすぐって綴った記述である。そこにはさまざまな人物が登場し、いろんな事件が語られている。話題は各地の博学によって選ばれ、記述は歴代の名文家によって練り上げられている。そんな歴史がおもしろいのは当然である。(中略)

歴史を楽しむ第三段階は、歴史を疑い、歴史の空白を想像することだ。現代の歴史学は微に入り細を穿って史料を調べるのを主としているから、意外な部分が欠落している。例えば、まとまった組織史や情報史はほとんど研究されていない。歴史は最も古い学問だが、日々新しい分野でもある。

(堺屋太一著『歴史の使い方』日本経済新聞出版社、2010年より一部改変)

問1 最新の考古学の業績により、近年縄文時代のイメージが刷新されつつあります。以下の図は、1986年と2003年に刊行された縄文時代のイメージを含む書物の表紙です。これらの図を参考にしながら、縄文時代の人々の生活に関する説明として誤っているものを、次の選択肢から一つ選び、記号で答えなさい。



(週刊朝日百科『日本の歴史』より、左図が1986年、右図は2003年刊行)

- ア 狩猟採集を中心とした生活を送っていた。
- イ イヌが生活に密着しており、かけがえのない大切な財産でもあった。
- ウ 麻などで布をつくり、複数の装飾品を身に着けていた。
- エ 土器や青銅器を用いた祭祀が行われていた。

問2 江戸時代に発見された下図の金印には「漢委奴国王」と記されており、弥生時代における日本と大陸の交流を示す証拠として、国宝に指定されています。しかし、いまだに他の時代に作られたのではないかという議論が繰り返されています。この金印が発掘された場所の名前を、解答欄に合う形で、漢字で答えなさい。



(福岡市博物館 HP より)

問3 古来より私たち人間は、自らの感情や気持ちを様々な方法で表現しています。特に奈良時代以降にまとめられた歌集を通じて、私たちは当時の人々について多くのことを学ぶことができます。奈良時代から鎌倉時代にかけての歌集に関する説明として正しいものを、次の選択肢から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 奈良時代末期に成立したとされる、日本に現存する最古の和歌集である『万葉集』は、全て平仮名で書かれていた。
- イ 『万葉集』には、貧しい農民の生活の様子を紀貫之がまとめた「貧窮問答歌」が収録されている。
- ウ 平安時代に編纂された『古今和歌集』は、天皇の命令によってつくられた最古の和歌集である。
- エ 鎌倉時代には、藤原定家の命令で『新古今和歌集』がつくられた。

問4 鎌倉時代に関する大河ドラマが放映されるなど、近年鎌倉時代に対する興味関心が高まっています。鎌倉時代に幕府によって設置された、守護・地頭の役割に関しては、現代でも数多くの研究がなされています。鎌倉時代における、守護・地頭の役割に関する説明として**誤っているもの**を、次の選択肢の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 御家人の中から任命され、全国の荘園と公領に置かれた地頭は、農民から徴収した年貢を鎌倉幕府に納めた。
- イ 荘園領主に荘園を折半させ、自分で荘園の半分を支配する地頭も現れるようになった。
- ウ 源頼朝の弟である義経を捕まえることを理由として、国ごとに守護の設置が認められ、有力御家人が守護に任命された。
- エ 北条泰時が制定した御成敗式目は、源頼朝以来の先例や武士社会での慣習・道徳にもとづいて、守護や地頭の任務と権限を定めた。

問5 以下の図は、室町時代半ばの応仁の乱を描いた絵巻の一部です。応仁の乱に関する説明として正しいものを、次の**誤っているもの**を、次の選択肢から一つ選び、記号で答えなさい。



(『真如堂縁起』真正極楽寺 真如堂 HP より)

- ア 3代将軍足利義満の跡継ぎ問題をめぐって有力な守護大名が対立した。
- イ 応仁の乱の後、将軍はますます権力を拡大させた。
- ウ 応仁の乱では、軽装で機動力に富み、徒歩で軍役に参加した足軽が盛んに活躍した。
- エ 戦乱の中でも、京都の町や貴族は保護され、京都の治安は保たれた。

問6 安土桃山時代以降、土地の広さをその土地で収穫できる米の量で表すようになり、全国の土地が統一的な基準で表されるようになりました。江戸時代には、武士の給料も原則お米で支払われるようになりましたが、それだけでは生活できなかった武士は内職などに励むことがあったことも明らかになってきています。このような、田畑の生産量や武士の給料などをお米で表す制度の名前を、解答欄に合う形で、**漢字2字**で答えなさい。

問7 2018年は、明治元年(1868年)から起算して満150年に当たる年でした。政府はこれを期に「明治150年」に関連する取り組みを行い、江戸時代末期から明治時代に関する多くの展示や催し物が行われました。江戸時代末期から明治時代の出来事に関する説明として正しいものを、次の**誤っているもの**を、次の選択肢から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 江戸幕府は朝廷の許可を得て、日米修好通商条約を結んだ。
- イ 開国当初は、外国との金銀の交換比率の違いから、日本の銀貨が大量に国外に持ち出された。
- ウ 大久保利通を全権大使とする大規模な使節団が欧米に派遣されたが、不平等条約の改正交渉は失敗に終わった。
- エ ドイツの憲法に強い影響を受けた、大日本帝国憲法が公布された。

問8 1894年に起こった日清戦争以降、戦争や兵隊を真似た遊びが子供の間で広まりました。また、日本軍の戦勝を新聞などで知った人々の間で、「自分たちは日本人である」という国民意識が定着するようになりました。日清戦争は、日本人の意識を変える重要なきっかけとなりました。この戦争の結果、日本が清から譲り受けることになった地域として**誤っているもの**を、次の選択肢から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 遼東半島 イ 山東半島 ウ 台湾 エ 澎湖諸島

問9 1941年以降、日本はすべての国力を投入する総力戦として、太平洋戦争を戦いました。国民の生活も戦争のために多くの制限がかけられ、戦争の影響は国民生活のすみずみにまで及びました。日中戦争開始から太平洋戦争終結までの日本国内の状況に関する説明として**誤っているもの**を、次の選択肢から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 軍事物資の生産が優先され、鍋や釜、寺の鐘までもが、兵器にするための金属として供出させられた。
- イ 食料をはじめとする生活必需品は十分に配給され、国民1人当たりのエネルギー摂取量は現代と同じ程度であった。
- ウ 国家総動員法によって、政府が戦争遂行のために国民や物資の統制を行うことが規定された。
- エ 戦時経済統制の一環として、電力の発電・送電も国家の管理下に置かれるようになった。

問10 第二次世界大戦後、サンフランシスコ平和条約で独立を回復した日本は、アジアの国々との外交関係を築いていきました。戦後の日本の外交に関する以下の説明を、時代の古い順から、解答欄に合う形で、記号で答えなさい。

- ア 佐藤栄作内閣の下で、沖縄の日本復帰がなされた。
- イ 日中平和友好条約が結ばれ、中国の経済発展とともに、両国の関係が深まっていった。
- ウ 韓国と日韓基本条約を結び、韓国政府を朝鮮唯一の政府として承認し、多額の経済協力を実施した。
- エ 鳩山一郎内閣によって日ソ共同宣言が調印され、ソ連との国交が回復し、日本はソ連の支持も受けて国際連合に加盟した。

2以下の文章を読んで、設問に答えなさい。

日本は四季の美しい国だといわれる。気温に合わせて年に何度か衣替えをするし、立春、秋分、啓蟄などの二十四節気は天気予報などでもたびたび耳にする、季節を改めて認識させる言葉だ。

(大人の教科書編纂委員会編『大人の教科書 地理の時間』青春出版社、2003年より)

問1 日本には春夏秋冬の四季が存在し、私たちはその季節に適した暮らしの中で日本独自の文化を築き上げてきました。なぜ日本に四季が存在するのかについて、「地軸」と「公転」という言葉を両方とも用いて、**25字程度**で説明しなさい。「、」や「。」も字数に数えます。

問2 春から夏にかけ、日本沿岸部の各地で潮干狩りを行う光景が見られます。潮干狩りでは、アサリなどの貝類が採れますが、貝類資源保護のために、各地域でルールが決められています。潮干狩りと貝類に関する説明として**誤っているもの**を、次の選択肢から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア リアス海岸では、その地形の特徴から潮干狩りが盛んに行われている。
- イ 貝類資源保護のため、採取量の制限や、採取量に応じた追加料金がルールとして決められていることが多い。
- ウ アサリは塩水の水域に生息するため、干潟などでよく採取することができる。
- エ 汽水の水域では、シジミも潮干狩りで採取することができる。

問3 5月から6月にかけて、全国で田植えを行う様子が見られます。私たちの先祖が代々つくり続けてきた田んぼは、食料を生み出すだけでなく、土砂流出を防ぎ、水害を軽減・緩和するなど、様々な役割を果たしています。田んぼや田植えに関する説明として正しいものを、次の選択肢から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 稲をしっかり育てるために、田んぼに水を入れ、土を砕いて平らにならす田起こしが行われる。
- イ 種もみを直接田畑にまく、直まきが米作りの主流となっている。
- ウ 同じ土地で稲作を続けるため、田んぼでは連作障害が生じやすい。
- エ 傾斜が急な山地などでも、棚田という形で、田んぼが作られている。

問4 2022年は、6月の連日の高温とその直後の台風により、レタスの収穫時期が一気に早まりました。その結果、需要が供給に追い付かず、レタスの値崩れが起きてしまいました。以下の表は、2020年の都道府県別のレタス収穫量を示しています。空欄に当てはまる都道府県の名前を、解答欄に合う形で、漢字で答えなさい。

都道府県	収穫量（千トン）
（ ）	198
茨城県	86
群馬県	52
長崎県	36
兵庫県	30

（二宮書店『データブック オブ・ザ・ワールド 2022年版』より作成）

問5 夏には全国各地で、厄除けや疫病退散、豊作を妨げる害虫の駆除など、様々な由来によるお祭りが催されています。日本のお祭りとその開催地の組み合わせとして正しいものを、次の選択肢から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 七夕まつりー仙台市
- イ 竿燈まつりー徳島市
- ウ 阿波おどりー青森市
- エ ねぶた祭ー秋田市

問6 秋には全国各地で紅葉が見られるようになり、多くの人々が紅葉狩りに出かけたりします。紅葉は山地だけでなく、各地の庭園でも味わうことができ、多くの観光客が訪れます。日本三名園にも数えられている、茨城県水戸市に存在する庭園の名前を、解答欄に合う形で、漢字で答えなさい。

問7 北太平洋で水揚げされる秋のサンマは、多くの人々に好まれ、食されています。サンマは8月末から10月頃に、北海道から三陸沖にかけて水揚げされますが、三陸沖はサンマだけではなく多くの鮮魚がとれる日本有数の漁場となっています。その理由として、三陸沖で寒流と暖流がぶつかっていることがあげられます。このように性質が異なる海流がぶつかる場所の名前を、漢字2字で答えなさい。

問8 寒さの厳しい日本の冬の時期には、全国各地で降雪が観測されます。私たちは冬の雪に適した生活を営んでおり、特に新潟県では織り上げた反物を雪ざらしにして、生地を白くする伝統工芸品が有名です。この伝統工芸品の名前として正しいものを、次の選択肢から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 加賀友禅
- イ 西陣織
- ウ 小千谷縮
- エ 博多織

問9 政府は2022年5月27日に、2022年度の冬における、電力需給の逼迫に対する見通しとその対策を公表しました。冬の電力需給に関して、油断できない状態が続くと見られています。日本の発電に関する説明として誤っているものを、次の選択肢から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 1950年代前半までは、山地に建設したダムの水を利用した水力発電で、電力の多くを供給していた。
- イ 1995年に生じた阪神・淡路大震災以降、多くの原子力発電所が停止または廃炉にされ、原子力発電の在り方についての議論が続いている。
- ウ 2022年現在、石油や石炭、天然ガスといった鉱産資源を燃料とする火力発電が、中心となっている。
- エ 限りある鉱産資源に頼る割合を低下させ、環境汚染を減らすために、太陽光や風力などを利用した発電の取り組みが各地で行われている。

問10 以下のグラフが示すように、日本に訪れる外国人観光客数は近年増加傾向にありました。2007年に環境省が中心となって法整備を行い、持続可能な環境保全を考えながら、自然環境及び文化・歴史などを学び体験することに主眼をおいた観光が推進されています。このような観光のあり方の名前を、カタカナで答えなさい。



（観光庁 HP より作成）

3以下の設問に答えなさい。

問1 人類の歴史のなかにおいて、憲法は国王などの権力を制限し、国民の権利を保障するために、世界各国で作られてきました。次の文章は、日本国憲法の前文を一部抜き出したものです。文章中の空欄に当てはまる語句を、漢字2字で答えなさい。

そもそも国政は、国民の厳粛な信託によるものであつて、その権威は国民に由来し、その権力は国民の代表者がこれを行使し、その()は国民がこれを享受する。

問2 政府は私たちの生活を守るため、社会に対して様々なルールを定めています。しかし、1980年代以降、世界的に政府による規制を緩めようとする動きが生じてきました。日本における規制緩和に関する説明として誤っているものを、次の選択肢から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 政府は日本国有鉄道を運営していたが、JRとして鉄道事業が民営化されることになった。
- イ 医薬品販売には安全性の観点から強い規制がかけられていたが、一部のスーパーでも医薬品が販売できるようになった。
- ウ 第二次世界大戦後もテレビ放送は民営化されていなかったが、小泉純一郎内閣の尽力により、民営化が実現した。
- エ タクシーに関する規制が緩められ、タクシー産業への参入が自由化され、事業の活発化が目指された。

問3 私たちの生活は、日本の国内産業だけで支えられているのではなく、諸外国との貿易にも大きく支えられています。日本と外国との貿易に関する説明として正しいものを、次の選択肢から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 現在、日本の食料自給率はカロリーベースでは約38%だが、米や麦などの穀物自給率は欧米諸国と比べても著しく高い。
- イ 高度経済成長期には、繊維・カラーテレビ・自動車等の輸出が盛んとなり、中国との間に貿易摩擦が生じた。
- ウ 冷戦後、日本円とアメリカドルの為替レートは、1ドル=360円で固定されており、変動することはない。
- エ 現在、精密機械や半導体は小さく値段も高いため、航空機による輸送手段が主に採用されている。

問4 2016年から、国民一人ひとりに識別番号を割り振り、納税や社会保障などにかかわる情報を国が一元的に管理する、マイナンバー制度が運用されました。この制度やその利用カードによって、私たちができるようになったこととして誤っているものを、次の選択肢から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 病院で健康保険証として、利用することができる。
- イ パスポートの代わりとして、外国との間で出入国ができる。
- ウ 地方自治体の図書館の利用者カードとして、利用することができる。
- エ コンビニで、住民票の写しを交付してもらうことができる。

問5 私たちの生活に、電気やガスは欠かすことができない存在となっています。しかし、電気やガスを生み出す手段に用いられる、石炭・石油・天然ガスの量には限界があります。これらのような、大昔に存在していた動物や植物が長い年月をかけて変化して生まれた燃料の名前を、解答欄に合う形で、漢字で答えなさい。

問6 私たちの生活を守るための仕組みとして、国の権力が一か所に集まらないようにする三権分立という政治の在り方が、現在の日本では採用されています。三権分立に関する説明として誤っているものを、次の選択肢から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 最高裁判所は、国会が制定した法律が憲法に違反していないかを審査する権利を有している。
- イ 裁判官を辞めさせるかどうかを判断する弾劾裁判は、参議院の中から選ばれた複数の議員によって執り行われる。
- ウ 国民は、世論を通じて内閣に対して、自身の意見を示すことができる。
- エ 内閣は、国会に対して連帯責任を負い、国会の召集や衆議院の解散を行うことができる。

問7 私たちの生活は、政府だけでなく、各地方公共団体によっても守られています。日本の地方自治に関する説明として正しいものを、次の選択肢から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 地方公共団体は、国の法令に反しないという条件のもとで、地方議会において条例を制定することができる。
- イ 教育、福祉、ごみ処理といった私たちに身近な行政サービスの多くは、国税を主な財源として、地方自治体が提供している。
- ウ 住民は、自らが所属する地方公共団体の首長を、間接的な選挙を通じて選ぶことができる。
- エ 条例に基づいて行われる住民投票は法的拘束力を持つため、住民の地方自治への参加を保障する、新しい形態として注目されている。

問8 私たちは、毎日の生活の中で商品やサービスの決済手段としてお金を使っています。日本で金銭の活動を行う金融機関の中心となる中央銀行として、日本銀行が存在しています。日本銀行に関する説明として誤っているものを、次の選択肢から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 日本で唯一、銀行券を発行することができる。
- イ 「政府の銀行」として、国債を発行している。
- ウ 金融機関だけでなく、国民や一般企業との取引も行っている。
- エ 国家が保有する資金である国庫金を保管し、出納を扱っている。

問9 1990年代初頭から約30年にわたり、日本の経済成長は停滞し、私たちの生活にも大きな影響を与えています。この「失われた30年」の出発点となったのは、1980年代後半から生じていた異常な好景気の崩壊と言われています。この異常な好景気の名前を、解答欄に合う形で、カタカナで答えなさい。

問10 私たちの生活を支える科学技術は、近年一層発展を続けています。特に、遺伝子操作などバイオテクノロジーの分野が著しく発展を遂げていますが、政府は2000年12月に、「ヒトに関するクローン技術等の規制に関する法律」を制定し、生命科学の技術・研究を初めて規制しました。政府のこうした規制は、憲法に反しているのではないかという議論も生じています。なぜ政府のこうした規制が憲法に反していると考えられるのか、**20字程度**で説明しなさい。「、」や「。」も字数に数えます。

1

問1		問2	島		
問3		問4			
問5		問6			制
問7		問8			
問9		問10	⇒	⇒	⇒

※

2

問1										
問2				問3				問4	県	
問5				問6	園			問7		
問8				問9						
問10										

※

3

問1			問2							
問3				問4						
問5	燃料			問6						
問7				問8						
問9	景気									
問10										

※

座席番号

受験番号

氏名

※